

平成 29 年度 農業科 (ハイテク農芸科)

教科	農業	科目	草花	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	「草花」 (実教出版)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

草花の生産と経営に必要な知識と技術を習得します。そのために、大阪で生産されている草花を中心に、その特性や生産に適した環境について座学と実習をとおして学びます。さらに、品質と生産性の向上及び経営の改善を図る能力と態度を身に付けるために、校外の様々な環境を構成する草花にも目を向け、その特性や利用の仕方さらに施工や流通、販売などについても学びます。

2 学習の到達目標

草花の特性や利用などと人間活動の関係 (社会的な意義や役割) についてわかる。  
生産技術に関する特徴をよく理解し、各種草花の生産に活用できる知識と技術を身につける。  
本校の花壇を事例に、花壇用草花の生産計画、管理及び評価ができる。  
社会の要請と草花の特性を理解した生産から販売までの経営ができる。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	草花の名前やその利用状況に興味関心を持っている。 草花名を自ら調べ記録しようとする。 生産実習では、準備から片づけまで主体的に取り組むことができる。	人と草花の関係について常に考えている。 草花の特性を理解し創意工夫した花壇設計ができる。 様々な場面で扱われる草花について評価できる	基礎的基本的な栽培技術を身につけている 花壇デザインができる	草花の特性と社会的な意義や役割を説明できる。 草花の生育と栽培環境の関係が説明できる 草花生産の現状と課題がわかる。 草花生産計画の立案と経営との関係がわかる。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノート レポート	学習状況の観察 花壇デザイン レポート 定期考査	学習状況の観察 花壇デザイン 生育経過の評価	学習状況の観察 花壇デザイン レポート 定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

#### 4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学期	草花生産と消費の動向	草花園芸の特徴	○			○	a: 草花の名前やその利用状況を説明できる。 草花名を自ら調べ記録している。 b: 人と草花の関係について説明できる。 c: 基礎的基本的な栽培技術を身につけている d: 草花の特性と社会的な意義や役割を説明できる。 草花の生育と栽培環境の関係が説明できる	
		草花生産と消費の動向	○	○				
	生活と草花の利用	草花の多面的利用	○	○	○			
		花壇デザイン	○		○			
	草花の特徴と栽培技術	草花の種類と生育環境				○		
		草花の生産技術				○		
2 学期	花壇設計	花壇の設計		○	○	○	a: 生産実習では、準備から片づけまで主体的にできる。 b: 草花の特性を理解して創意工夫した花壇の設計ができる。 c: 花壇デザインができる 花壇用草花の栽培ができる d: 草花の生育と栽培環境の関係が説明できる 草花の特性と栽培環境との関係が説明できる。 草花生産技術の特徴が説明できる	
	花壇用草花の生産	花壇用草花生産の特色	○			○		
		花壇用草花の栽培			○			
	切花生産	切花生産の特色と技術	○	○		○		
	鉢もの生産	鉢もの生産の特色と技術	○			○		
3 学期	草花生産の経営	生産と流通の改善	○	○	○	○	a: 草花利用がわかる b: 草花生産の現状と課題がわかる。 c: 草花生産計画書を作ることができる。 d: 草花生産計画の立案と経営との関係がわかる。	

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度      b: 思考・判断・表現  
c: 技能      d: 知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単

元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。